

阿賀津川中学校だより

白 嶺 青 龍

阿賀町立阿賀津川中学校
第5号
令和2年6月26日発行
TEL 92-2117
www.niigata-inet.or.jp/tsugawa-j

教育目標

知性を磨き、共に高め合う生徒

“おらがまちの学校”が照らす明りは、まちの未来を照らす明り

新潟県の人口流出が止まりません。総務省の調査によると、昨年、県内の「転出超過」は8,162人で全国最多となりました。県内より県外の方が住む価値があると感じた結果、と云っているのかもしれない。転出超過は平成8年から24年間続きます。県人口は、令和元年が222万人。県推計では、令和27年には170万人を割り込む見込みです。

転出の多くが若者です。本県から首都圏への若者の流出が止まらないとのこと。阿賀町の課題も同様です。

地方の夜の街でひときわ目を引く明りは予備校や学習塾だと言われています。駅前や交通アクセスのよい通りにいくつもの学習塾があります。

中高生らが夢に向けて突き進んでいるからか、近くを通ると活気が感じられると言います。首都圏を中心とする有名大学の合格実績を掲げる予備校もあり、「次は自分だ」と、都会での大学生活を夢見て努力する生徒も多いとのこと。さびれた街の夜を明るく照らす存在が、若者を都会へ送り出す扉となっているのは、何とも皮肉に感じます。

2年前、東京23区にある大学の定員増を10年間認めない「東京一極集中の是正の法案」が成立しました。平成28年の首都圏（東京、千葉、神奈川、埼玉）の人口は、日本の全人口の28.1%であり、首都圏の学生数は全学生数の40.8%を占めています。地方から多くの若者が流出していることが窺えます。

進学先、いわば自分の未来を選ぶのは若者の自由であり、若者が一度、都会へ出ることは、視野や世界観を広げます。

都会で学び、知識を深め、経験を積んだ若者がふるさとへ戻ってくれば、むしろ地方活性化の力になります。若者の流出に対して危機感を強めて、人の流れに規制をかける防波堤を築くのではなく、戻って来たくする“ふるさと”をつくるのが大切です。

ふるさとの夜を照らす明りは、ふるさとの未来を照らす明りのような気がします。

阿賀町では「15年教育」（保・小・中・高）を通して、阿賀町を担う人を育むことを推進し、来年度から町の小・中学校すべてに、地域とともにある学校づくりを目指したコミュニティ・スクール（CS）が導入されます。

阿賀黎明高校では、今年度からC・Sがスタートしています。先日の高校見学では、一人の教師が3名の生徒に教科指導している等、生徒と教師の距離が近い関係の中で授業や教育活動が行われている様子が伝わってきました。また、町の公営塾の黎明学舎の若いスタッフが高校生を支援しています。阿賀津川中学校でも2学期から“黎明タイム”が始まります。

阿賀津川中学校は、平成20年に開校し、創立13年目を迎える歴史の浅い学校ですが、多くの優秀な卒業生を輩出しています。卒業生が親世代になったときに“おらがまちの学校”の真の意識が芽生えると言われています。

今、町が抱える課題を、学校の課題として「阿賀町未来フォーラム」で生徒が語っていることを実現していく素養を高めていきたいです。そして“おらがまちの学校”が照らす明りは、まちの未来を照らすことができるようにします。

校長 稲生 一徳

今年度の阿賀青龍祭と白嶺祭について

阿賀青龍祭は、9月5日（土）に3密を防ぐガイドラインに沿って半日開催とします。

白嶺祭は、分散型で実施をします。10月31日（土）は、合唱コンクールを中心とした催しのみ行います。作品展示は、2学期末の12月の期末懇談会時に行います。

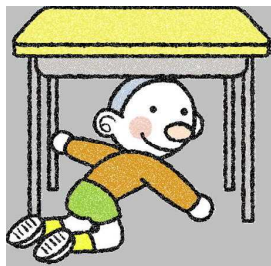
今まで普通にできていたことができない日々が長期化すると言われていきます。今年度、実施する学校行事が、新しい生活様式の時代のモデルになるかもしれません。



人の思い出や記憶は一瞬一瞬の積み重ねです。その一瞬のために、これからその何十倍も何百倍も時間をかけて、準備をします。その過程を大切にしながら、One teamになるため、ここにいる132人でしかできない阿賀青龍祭、白嶺祭を創りあげましょう。

「もしも」に備えて・・・防災訓練を行いました。

日本は地震大国と言われています。この新潟県でも「中越大震災」「中越沖地震」など、大きな地震が発生したことがあります。また、東日本大震災で被害を受け、いまだに苦しんでいる人たちが大勢います。地震は、一瞬で人々の幸せを奪ってしまいます。



そんな、地震災害に備えるために、「防災訓練」は絶対に必要です。当校では第1回目の防災訓練を、6月18日(水)の5限に実施しました。

地震発生のアナウンスと同時に机の下に入り、校内放送を受けて、落下物に注意しながらグラウンドに集合しました。生徒はみな整然と動き、誰ひとり笑いやおしゃべりがありませんでした。素晴らしい取組の様子でした。

この機会に、ご家庭でも「緊急時にはどうするか」について、ぜひ話題にしていいただければと思います。

<7月の予定>

- | | | | |
|--------|----------|--------------|---------------|
| 1日(水) | 専門委員会 | 部活動なし | SB14:55 |
| 2日(木) | 生徒朝会 | | |
| 6日(月) | 全校朝会 | 学校預かり金引き落とし日 | |
| 7日(火) | 昼休み生徒会レク | 訪問給食3-2 | |
| 8日(水) | 部活動なし | SB14:55 | |
| 9日(木) | 3年思春期教室 | | |
| 10日(金) | 漢字検定 | | |
| 13日(月) | 学期末保護者会① | 午前4限授業 | SB15:50 |
| 14日(火) | 学期末保護者会② | 午前4限授業 | SB15:50 |
| 15日(水) | 学期末保護者会③ | 午前4限授業 | 部活動なし SB13:30 |
| 17日(金) | 英語検定 | | |
| 20日(月) | 専門委員会 | | |
| 22日(水) | 午前4限授業 | 午後終業式 | |
| 23日(木) | 海の日 | 夏季休業(~8/23) | |

※ 2学期の始業式は、8/24(月)です。

